

皇室費 平成19年度省庁別財務書類の概要

省庁別財務書類について

- 作成目的
皇室の一般会計の財務状況を開示。
- 作成方法
「省庁別財務書類の作成基準」に基づき作成。
- 各財務書類の表す財務情報
(貸借対照表)
資産及び負債の状況を開示。
(業務費用計算書)
本年度に発生した費用の状況を開示。
(資産・負債差額増減計算書)
貸借対照表の前年度末資産・負債差額と本年度末資産・負債差額の増減を要因別に開示。
(区分別収支計算書)
歳入歳出決算の財政資金の流れを区分別に開示。

皇室費の業務等の概要

皇室の費用は、内廷費、宮廷費及び皇族費の三つに分かれています(皇室経済法第3条)。
内廷費は、天皇・内廷にある皇族の日常の費用その他内廷諸費に充てるものとし、法律で定める定額を毎年支出されます。
宮廷費は、儀式、国賓・公賓等の接遇、行幸啓、外国ご訪問など皇室の公的ご活動等に必要経費、皇室用財産の管理に必要な経費、皇居等の施設の整備に必要な経費などです。
皇族費は、皇族としての品位保持の資に充てるためのもので、各宮家の皇族に対し年額により支出されます。

参考情報

①公債関連情報(仮定計算により算定)
a. 資産額等を基礎として配分される本年度末公債残高5,368億円、本年度公債発行額22億円、本年度利払費75億円
b. 資産・負債差額等を基礎として配分される本年度末公債残高6,743億円、本年度公債発行額22億円、本年度利払費94億円

貸借対照表 (単位:十億円)

	前年度	19年度	増減		前年度	19年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
有形固定資産	479	477	△1		-	-	-
国有財産(公共用財産除く)	478	477	△1				
物品	0.5	0.6	0				
				負債合計	-	-	-
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	479	477	△1
資産合計	479	477	△1	負債及び資産・負債差額合計	479	477	△1

業務費用計算書 (単位:十億円)

	前年度	19年度	増減
内廷費	0.3	0.3	-
皇族費	0.2	0.2	0
宮廷費	3	2	△1
減価償却費	2	2	△0
本年度業務費用合計	7	7	0

資産・負債差額増減計算書 (単位:十億円)

	前年度	19年度	増減
前年度末資産・負債差額	480	479	△0
本年度業務費用合計(A)	△7	△7	△0
財源合計(B)	6	6	△0
租税等財源	6	6	△0
本年度末資産・負債差額	479	477	△1
(参考) (A) + (B)	△1	△1	△0

区分別収支計算書 (単位:十億円)

	前年度	19年度	増減
業務収支	-	-	-
財源	6	6	△0
業務支出	△6	△6	0
財務収支	-	-	-
本年度収支(業務収支+財務収支)	-	-	-
本年度末現金・預金残高	-	-	-

主な科目の内訳

(カッコ内は前年度からの増減額)
(貸借対照表)
・国有財産(公共用財産を除く)

	4,771億円 (△16億円)
土地	4,391億円 (△2億円)
建物	187億円 (+2億円)
工作物	176億円 (△4億円)

(業務費用計算書)
・宮廷費 29億円 (△10億円)

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産)
 工作物…減価償却による減 △4億円
 建設仮勘定…工事が完成したことによる減 △12億円
- 業務費用計算書
 宮廷費…工作物による減 △10億円
- 資産・負債差額増減計算書
 本年度業務費用合計と財源合計との差額(財源不足) △12億円
(左記(A)+(B)により算出)
⇒企業会計の「当期純損失」に相当
- 区分別収支計算書
 財源…配賦財源 △0.2億円
 業務支出…宮廷費 △9億円